

大学院 学科推薦説明動画 ～理工学研究科～



この説明動画は、「学科推薦」を希望する方を対象とした内容です。
一般入試（一次・二次）の説明は行いません。

大学院課

はじめに：『学科推薦』と『一般入試』

- ・大学院入試には、「学科推薦」と「一般入試（一次・二次）」があります。
 - ・本説明動画の対象は、「学科推薦」希望者です。
 - ・**「学科推薦」は、就職・他大学との併願はできません（出願後の辞退も不可）。**
- 就職や他大学大学院との併願を希望する場合は、「一般入試（一次・二次）」を受験してください。

	学科推薦	一般入試
時期	年1回 4～6月	年2回 (一次)8月、(二次)翌1月
試験内容	面接	書類審査・口述試験
特徴	就職活動・他大学院受験との 併願不可（辞退不可）	就職活動・他大学院受験との 併願可

目次

1. 大学院概要
2. 学科推薦の概要
3. 学内給付奨学金の概要・申請方法
4. 大学院先取り履修制度
5. 修士論文提出条件
6. その他（協定大学への推薦について）

【注意事項】

諸手続に関する締切日、締切時間は厳守すること。

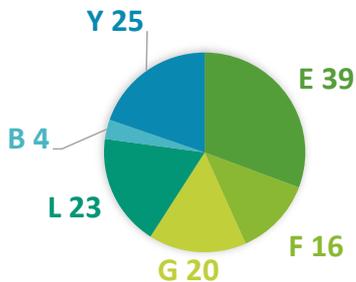
* 締切後の対応は、理由いかに問わず受付不可とします。

1. 大学院概要

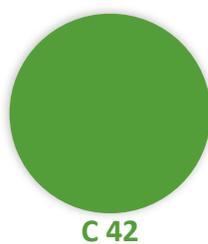
理工学研究科 内部進学者の出身学科内訳

※()内は定員

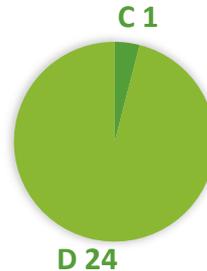
電気電子情報工学専攻(110)



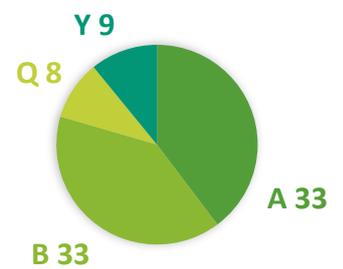
材料工学専攻(40)



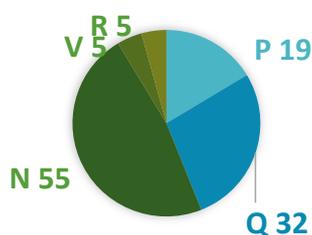
応用化学専攻(30)



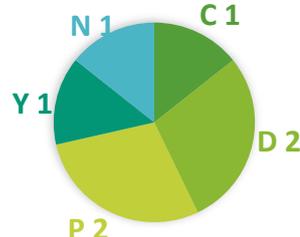
機械工学専攻(85)



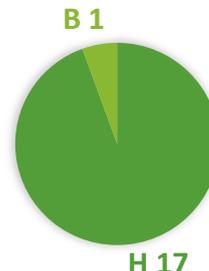
システム理工学専攻(75)



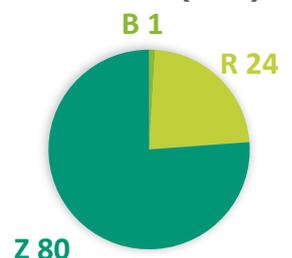
国際理工学専攻(10)



社会基盤学専攻(25)



建築学専攻(110)



2. 学科推薦の概要

① 制度の概要

理工学研究科	
条件	① 学部3年次終了時、 <u>累積GPAが3.1以上であること</u> (2016年度以前入学者は、累積GPAが2.30以上であること) ② 卒業見込がでていること ③ TOEIC(-IP)スコアが期日までにS*gsot Portfolioに登録されていること
就職活動・他大学院受験との併願	不可 (必ず本学に進学することとなります)
選考方法	面接
申請料	15,000円 (手数料は振込者負担)
入学手続き金	1月中旬までに 一括 納入
進学前に応募できる奨学金	・修士課程給付奨学金 ・グローバル理工系人材育成大学院給付奨学金 (要件を満たせば自動採用)
その他	先取り履修制度が利用可能 (※一般入試による進学では、利用不可)

2. 学科推薦の概要

② TOEICスコアについて

■ プレイメントテスト・学内IPテストのスコア→**自動的に登録**

■ 公式テストのスコア→自分で登録

※オンラインテストも含む

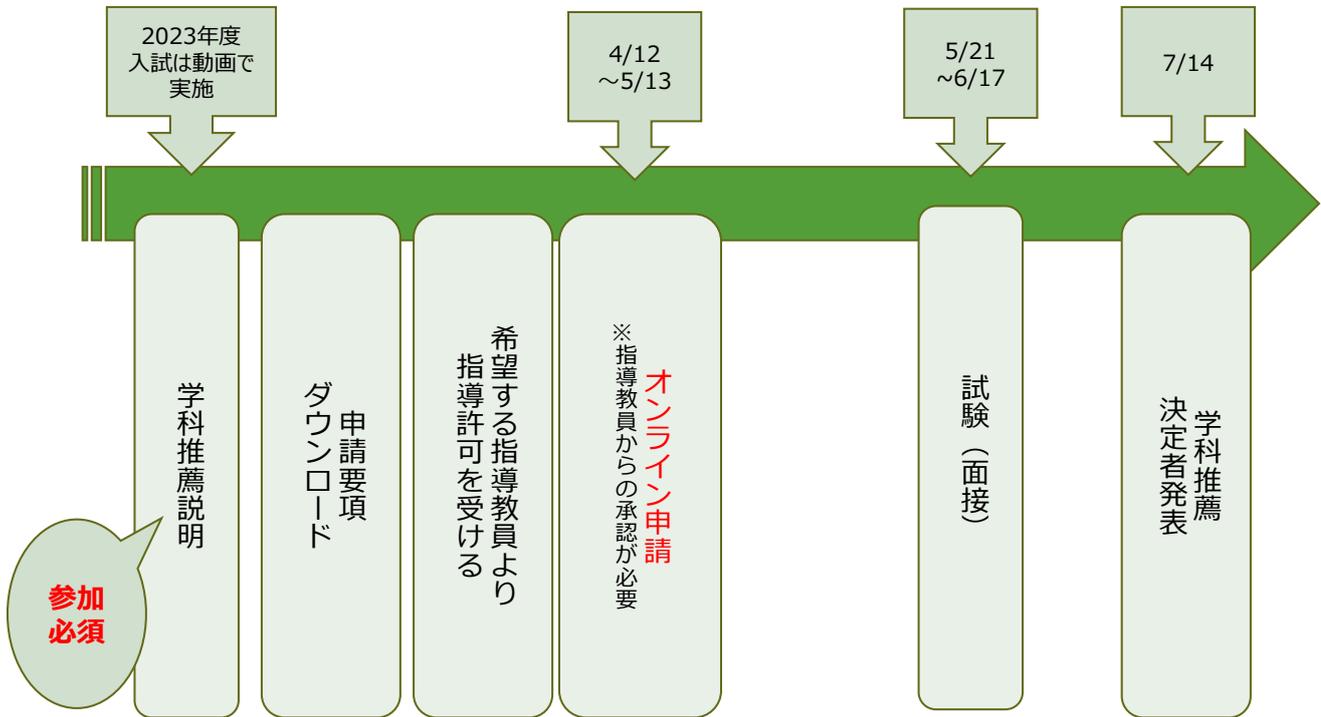


S*gsotのポートフォリオタブから登録可

※入力方法が分からないときは、SGU推進課にお尋ねください。
 SGU推進 <sgu-initiatives@ow.shibaura-it.ac.jp>

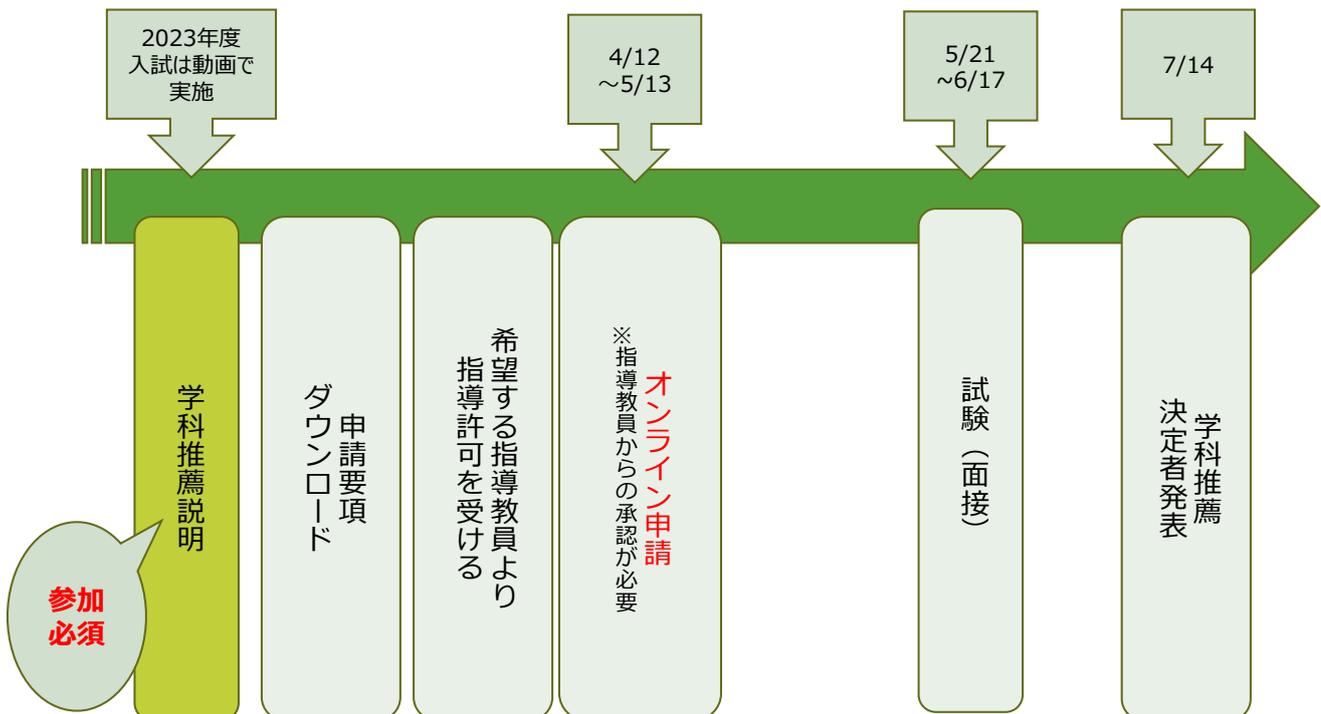
2. 学科推薦の概要

・③申請フロー



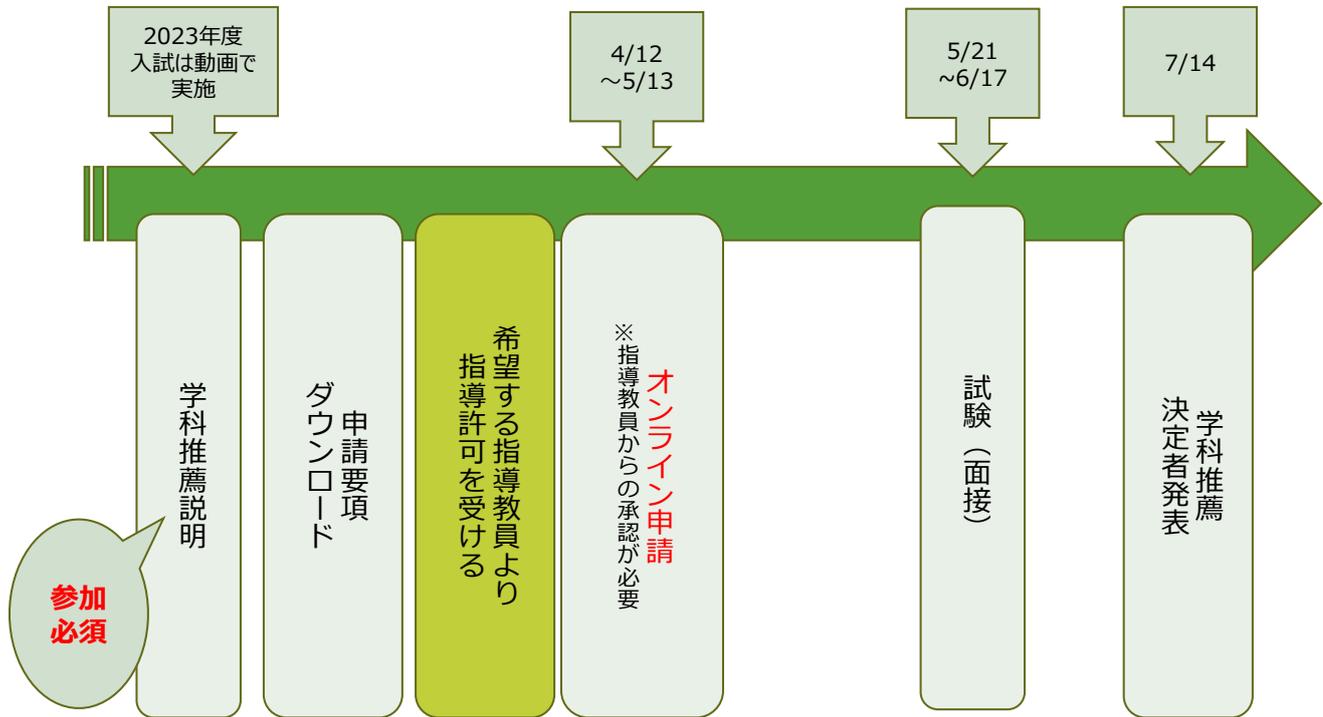
2. 学科推薦の概要

・③申請フロー



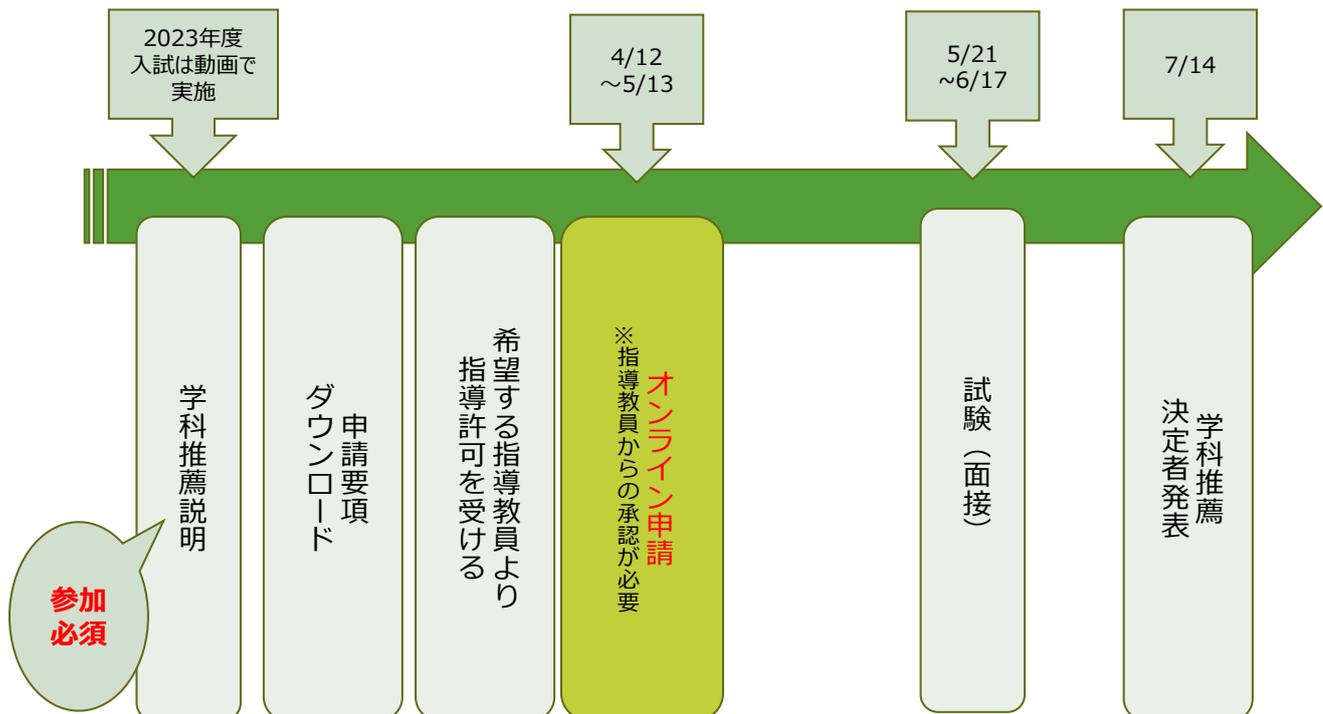
2. 学科推薦の概要

・③申請フロー



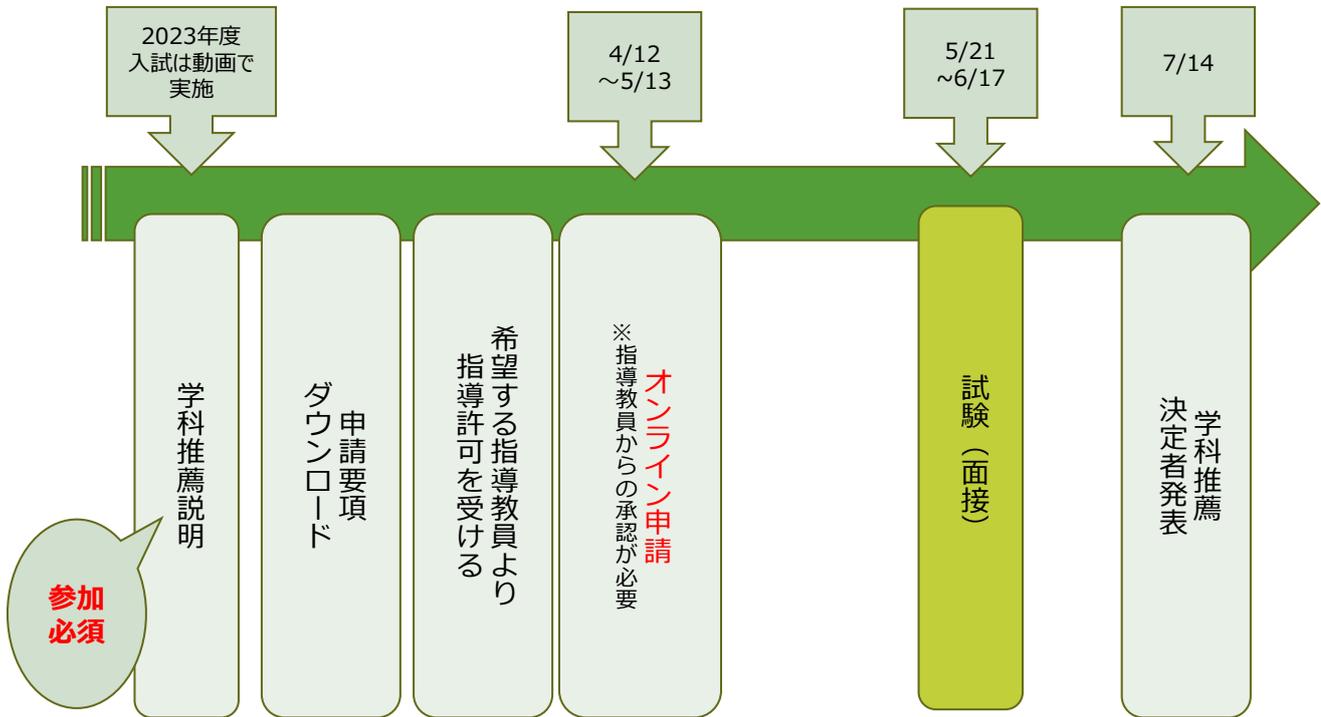
2. 学科推薦の概要

・③申請フロー



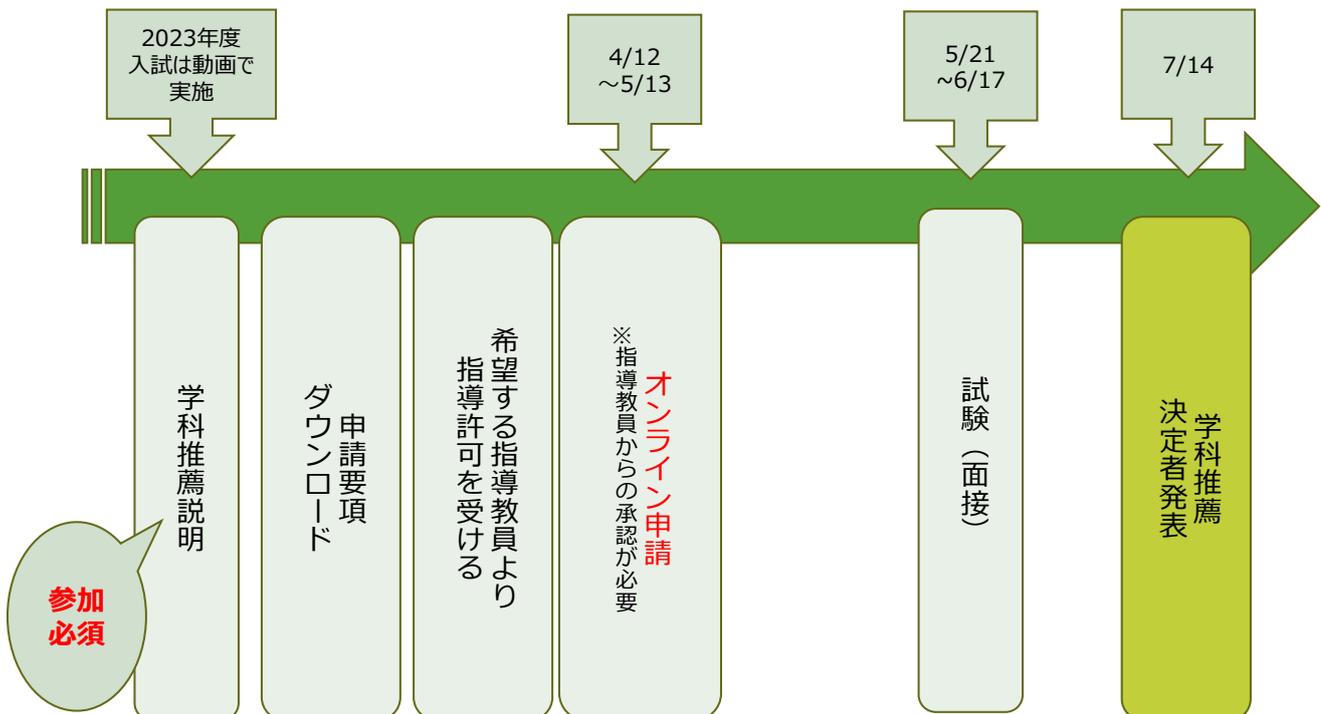
2. 学科推薦の概要

・③申請フロー



2. 学科推薦の概要

・③申請フロー



2. 学科推薦の概要

・④スケジュール

時期	内容	備考
説明会～申請要項の確認	指導教員に進学希望の申し出	指導許可をもらう
4月12日(火) ～5月13日(金) ★申請期間厳守	学科推薦オンライン申請 →奨学金希望者は同時に奨学金の申請も行う 申請料15,000円 →クレジットカードまたはコンビニ払い *納入にかかる手数料は 振込者負担	※指導教員からの電子承認を受けることが必要です。 ※パピルスメイトでの入金是不可 これ以降の 辞退不可
5月21日(土) ～6月17日(金)	面談等の実施（専攻別）	日程・場所は専攻長の先生から案内
7月14日（木）	進学決定者発表（大学Webサイト及びオンライン出願システムから） ※入学手続き金の納入案内は 11月下旬TAOから送付予定 (郵送対応は無し) *納入にかかる手数料は 振込者負担	修士課程進学奨励給付奨学金の採用通知は、大学Webサイトにて発表

【申請要項】 <https://www.shibaura-it.ac.jp/examinee/graduate/guideline.html>

2. 学科推薦の概要

・⑤注意事項

項目	内容	備考
指導教員への申し出	オンライン申請前に、指導許可を得ること	許可がない場合、申請不可
オンライン申請	期間内に申請しない場合、対象外 (学科推薦の申請意思がないものと判断)	4月12日(火)～5月13日(金)
就職等との併願	不可（辞退できません）	併願希望者は 一般入試 を受験すること
指導教員の承認	5月13日(金)〆切のオンライン申請は、 指導教員の承認が必要	担当教員を希望する場合は、担当教員に加え、指導教員の承認も必要
申請書の入手	Webサイトからダウンロード (4月上旬大学Webサイト掲載予定)	奨学金申請要項も同様に、大学Webサイトからダウンロードすること

2. 学科推薦の概要

・⑥専攻幹事（理工学研究科）

「大学院の専攻」と「学部の学科」の間の連絡および調整を行う教員で、学科主任とは異なる
 （専攻幹事：最終スライドのリストを参照してください。）

大学院進学に関わる質問は、専攻幹事に問い合わせること。

2. 学内推薦の概要

・⑦学費（参考：2022年度） 本学卒業生は**入学金**が免除となります。

1. 理工学研究科

費目	1年次			2年次		
	入学時	後期	計	前期	後期	計
入学金	(260,000)	—	(260,000)	—	—	—
授業料	510,500	510,500	1,021,000	560,500	560,500	1,121,000
維持料	92,000	92,000	184,000	92,000	92,000	184,000
合計 (入学金除く)	602,500	602,500	1,205,000	652,500	652,500	1,305,000

↑ 入学手続き金

※学費の他、後援会費あり。2年間で30,000円。

3. 理工学研究科 奨学金について

■ 奨学金の種類

- ・主な奨学金は5つです。給付/貸与の別、出願/決定時期、金額、受給形態がそれぞれ異なります。
- ・①は、入学前に採用が決定し、学費請求時に相当金額が差し引かれます。
- ・②③④は、入学後に募集があり、修士在学中採用が決定し、奨学金は指定口座へ振込む形式です。
- ・⑤は、入学後に採用が決定し、修士1年次後期学費、修士2年次前期学費から差し引かれます。

■ 審査基準

・「学業成績」を重視します。学部と異なり、原則、家計の経済状況は考慮されません（④を除く）。なお、日本学生支援機構（JASSO）の奨学金については第1種、第2種それぞれで本人の収入に関して家計基準が設けられています。

種別	利子	奨学金名称	申請時期	決定時期 B:学部 M:修士	給付額/貸与額	受取形式
給付	-	①修士課程進学奨励給付奨学金	学科推薦出願時	B4の7月	Aタイプ：年60万 Bタイプ：年30万 Cタイプ：年30万 Dタイプ：年10万	学費より 差し引き
貸与	無	②日本学生支援機構奨学金（第一種）	入学後	M1の7月	月5万/8.8万	毎月振込み
	有	③日本学生支援機構奨学金（第二種）	入学後	M1の7月	月5万/8万/ 10万/13万/15万	
給付	-	④芝浦工業大学後援会自活支援奨学金	入学後	M1の7月	年30万	一括振込み
	-	⑤グローバル理工系人材育成大学院給付奨学金	B4の3月末日 (条件による自動申請)	M1の5月	年30万	学費より差引

奨学金の情報はスライドだけでなく、

- ①については別紙芝浦工業大学修士課程進学奨励給付奨学生（予約給付奨学生）募集要項に、
- ②③⑤の概要は学科推薦申請要項に概要が掲載されますので、そちらを必ず読むようにしてください。

3. 理工学研究科 学内給付奨学金 **選考方法…A→B→C→D**

① 修士課程進学奨励給付奨学金

項目	内容				備考
	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ	
①給付金額	年60万円	年30万円	年30万円	年10万円	給付は原則2年間
②対象者	「学科推薦」で大学院進学を希望するもの				
③選考基準成績	3年終了時の単位重み付き総平均点				
④採用予定者数	16名	16名	25名	学科人数による	成績上位者からA→Dの順番に採用
⑤採用条件	学科成績 1位*1	学科成績 女子内1位*1	学科成績 上位者*1	学科成績 上位50%*2	*1 学科推薦出願内順位 *2 3年終了時の学科内順位
⑥申請方法	学科推薦Web出願時にTAO上で申し込みを行う				
⑦結果通知	学部4年生の7月頃（予定）、合格発表時に Webサイト上で公開				
⑧受給方法	前後期の学費請求時に年間給付金額の半額が每期差し引かれる				入学手続き金振込時から適用
⑨他奨学金との併用について	Aタイプ～Dタイプの併給は不可。 日本学生支援機構奨学金、自活支援奨学金、グローバル理工系人材育成大学院奨学金との併用は可能。				

※ 基準成績をもとにA→B→C→D（タイプ）の順で選考を行う。複数のタイプに同時に採用されることはない。

例：男子が学科成績1位の場合はAタイプ採用となり、女子で学科成績女子内1位の者はBタイプの採用となる。
女子が学科成績1位の場合はAタイプ採用となり、女子で学科成績女子内2位の者はBタイプの採用となる。

※ 奨学金採用上ではSIT portfolioで確認できる学科順位は参考程度とすること。留年者数などで母数変動するため、SIT portfolioの順位と実際の採用が異なる可能性があるため

3. 理工学研究科学内給付奨学金

⑤ グローバル理工系人材育成大学院給付奨学金 <<30万>>

項目	内容	備考
① 給付金額	年額30万円 ※2年間給付で総額60万円	
② 対象者	(1)大学院入学日前日までにTOEIC®L&Rのスコアを 550点以上 有する者（在學生） (2)一般入試出願時にTOEIC®L & Rのスコアを550点以上有する者（既卒生）	
③ 採用予定数	年度あたり最大600名（申請者が採用予定数を超えた場合は、スコア上位者より採用）	
④ 申請方法	S*gsot PortfolioにTOEIC®L&Rの自分のスコアを登録 →大学院入学日前日時点で【承認済み】の550点を超えるデータが登録されている学生が自動申請 ※学内IPテストを受験した場合は、スコアの登録は不要（自動登録） ※公式テスト受験により550点を超えるスコアを有していても、期日までにS*gsot Portfolioへスコアの登録がなかった場合は自動申請されない（公式テストの登録の方法は国際部に確認すること）	
⑤ 結果通知	大学院入学後の5月中旬（予定）	
⑥ 受給方法	一年次後期 および 二年次前期 、学費請求時に相当金額が差し引かれます。	
⑦ 他奨学金との併用について	全ての奨学金と併用可	

4. 大学院先取り履修制度

- ・ **学科推薦希望者は、学部4年のうちから大学院の授業科目を履修することができます。**

項目	内容
① 履修方法	履修登録期間中に、ScombZのホーム画面に表示されるアンケートから、自身が進学予定の専攻のものを選択し、履修をしたい科目を申請
② 申請期日	(前期) ①追加 3月30日（水）～ 4月7日（木） ②削除 4月8日（金）～ 4月18日（月） (後期) 別途学科推薦決定者にScombZで周知
③ 対象者	(前期授業) 学科推薦での進学を強く希望している者 (後期授業) 学科推薦合格者 ※ 学科推薦での進学を迷っている方は、当制度の対象ではありません。
④ 単位の認定時期	修士1年時の成績として認定
⑤ 成績公開	成績発表日以降、S*gsotで確認可能
⑥ 注意	先取り履修制度で履修できるのは、10単位まで
⑦ 参考URL	https://www.shibaura-it.ac.jp/campus_life/class/course_registration.html 履修登録・確認期間より“理工学研究科”を選択



5. 修士論文提出条件

• 修士論文提出条件

- ① 学内システムS*gsotに登録されている英語力が**CEFR B1レベル以上**（下記URL参照）であること
 - 修士課程入学時にCEFR B1レベル以上(学部入学時からの最高スコアを対象とする)を達成し、S*gsotに登録している学生は、すでに修士論文の提出条件を満たしている
 - 修士課程入学時にCEFR B1レベル未満の学生は、入学後にCEFR B1レベル以上を取得し、S*gsotに登録すること
- ② ①の条件が未達である場合、「**特例条件**」を満たすことで、修士論文の提出条件を満たしているものとする。

• S*gsotへの登録期限

- **修士論文概要書提出時まで**



対照表

<https://bit.ly/35Uok1Y>

• CEFR B1レベル以上の取り扱い

- TOEIC（学内IP試験を含む）あるいは他の英語能力測定試験（TOFEL、IELTSなど、CEFR B1レベルを評価できる試験）を受験してスコアをS*gsotに登録すること
 - 学内で実施しているTOEIC-IP（年1回まで無償）の受験を推奨
 - TOEIC L&Rのスコア550点以上をCEFR B1レベル以上とする
 - 他の英語能力測定試験については、文部科学省が定める「[各資格・検定試験とCEFRとの対照表](https://bit.ly/35Uok1Y)（<https://bit.ly/35Uok1Y>）」にもとづいて判断する
- 学内で実施する指定の「英語講座」を受講し、CEFR B1レベルの評価を得た後、その結果をS*gsotに登録すること

• 特例条件

- 学内で実施する指定の「英語講座」を2回以上受講して、CFERの評価を2回以上得ること

6. その他

• 理工学研究科協定大学への推薦手続き

協定大学	東京電機大学 東京都市大学 工学院大学
応募方法	4月8日（金）までに本学大学院課にメールで申し出
推薦基準	本学学科推薦に準じる

よくある質問

1. **5月下旬に企業の最終面接の結果がでます。それまで待ってくれませんか？**
→学科推薦は、本学大学院を単願する4年生のためのものです。
就職活動と天秤にかけたいのであれば、必ず一般試験を受験してください。
2. **5月14日以降に申請できますか？**
→期間終了後に申し出があっても対応することができません。期間を厳守してください。
3. **面接の日程が知りたい**
→各専攻にお問い合わせください。
4. **申請要項がほしい**
→Webサイトからダウンロードしてください（4月中旬掲載予定）。
5. **学科推薦申請時に奨学金の申請を忘れてしまいました。申請できますか？**
→期限内であっても一度応募されたものからの変更、および〆切後の応募は、不可となりますのでご注意ください。また、登録内容のご照会の問い合わせには対応できかねます。
6. **入学手続き金の分割納入はできますか？**
→学科推薦は、数々の優遇措置がとられていることから、分割納入はできません。

大学院入試に関する問い合わせ先

大学院課

【問い合わせフォーム】

下記のURLのフォームから必要事項を入力する形でお問い合わせをお願いします。

＜注意事項＞

- ・ 問い合わせの際は、事前に必ず本スライド及び申請要項等を熟読ください。
- ・ 問い合わせ内容が不明確な場合は、回答できない場合もあります。問い合わせの際は、必要事項を明確に記載するようにしてください。
- ・ 提出〆切が設定されているものに関する〆切延長の相談やTAO等に入力した内容に関する個別確認については対応出来かねますので、予めご了承ください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfvaV55q4GLXF-6CZuCx3TI7tBSEPNa4Z7qWbapMfPZNbHkxQ/viewform>

(参考)2023年度入試 専攻幹事一覧

大学院理工学研究科修士課程 専攻幹事一覧

2022.04

	電情	材料	応化	機械	シス理	国際理工	社会基盤	建築学
A 機械				佐伯 暢人				
B 機械機能				橋村 真治				
C 材料		下条 雅幸						
D 応化			永 直文					
E 電気	安藤 吉伸							
F 通信	森野 博章							
G 電子	加納 敏一郎							
H 土木							並河 勇	
I 情報	杉本 徹							
N 生命					布施 博之			
P 電情シス					田中 直彦			
Q 機械シス				沼島 真仁	飯塚 浩二郎			
R 環境シス					小山 友介			石川 祐次
V 数理					尾崎 克久			
Y デザ	野田 夏子			梁 元碩				
Z 建築								前田 英寿 志村 秀明

◆専攻幹事への相談について

1. 「自分の所属する学科」に「志望する専攻」の『専攻幹事』がない場合、「自分の所属する学科」にいる『専攻幹事』に申し出ること（『専攻幹事』の所属する専攻は問わない）
※国際理工学専攻も同様とする
（例）所属学科：Y デザイン工学科、志望専攻：国際理工学専攻
 ⇒ Y 野田先生 or Y 梁 元碩先生 に申し出る